

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社プロトコーポレーション  
東証プライム/名証プレミア 証券コード：4298

2024年1月31日  
(決算説明会 2024年2月5日)

---

**2024年3月期 第3四半期  
業績サマリ**

P.3 ~10…2024年3月期第3四半期累計期間(4月-12月)の業績

P.11~13…主力サービスのKPI

---

**中期3ヶ年計画の実現に向けて**

P.14~15…健全な中古車業界を目指して

---

**Appendix**

P.16~22…Appendix –KPI・業績–

P.23~29…Appendix –ビジネス概要–

---

# 2024年3月期 第3四半期 業績サマリ

## 第3四半期累計期間（4月-12月） 全社業績の概要

売上高及び営業利益以下の利益項目は全て計画達成

売上高、営業利益ともに順調に成長。経常利益、四半期純利益は主にタイヤ・ホイール事業におけるデリバティブ評価損益の影響により、前期対比で大幅増益

(単位：百万円)	当期計画 2024年3月期 4月-12月	当期実績 2024年3月期 4月-12月	計画対比	前期実績 2023年3月期 4月-12月	前期対比
売上高	85,158	86,857	+2.0%	79,329	+9.5%
営業利益	6,116	6,328	+3.5%	5,976	+5.9%
経常利益	6,659	6,818	+2.4%	5,378	+26.8%
親会社株主に帰属する 当四半期純利益	4,476	4,553	+1.7%	3,490	+30.4%

\* 本資料における「当期計画」は、2023年10月31日に公表した修正計画です。

# 第3四半期累計期間（4月-12月） 全社業績・セグメント別業績のポイント

## 全社業績のポイント

- 売上高は、全セグメントにおいて前期対比で増収、計画対比で達成となった
- 営業利益は、プラットフォーム事業が増益、計画達成となったものの、コマース事業は増益も計画未達成

## セグメント別業績のポイント

### プラットフォーム

- 中古車領域は売上高、営業利益が順調に推移。メディアの売上高が僅かに未達成となった要因は、主にグーバイクの大手の契約が計画から遅延したため。サービスは新車領域が売上高、営業利益ともに計画達成し成長を牽引

### コマース

- タイヤ・ホイール事業、チケット事業ともに売上高は成長、計画達成。一方、営業利益は、両事業ともに増益も計画未達成

### その他

- セグメント全体では、売上高は成長、計画達成。営業利益は、グループ会社の影響により減益も、営業利益が計画達成に転換。沖縄バスケットボール社の業績は順調。

## プラットフォームセグメントの業績概要

## 中古車領域

(メディア)

## 新規営業強化による取引先拡大に伴い、売上高、営業利益ともに成長

新規営業を強化し、前四半期末と比較して取引店舗数が349店舗増加。オプション商品では、「AIレコメンドスペース」の導入が拡大。第4四半期以降は、取引店舗数とともにオプション商品拡販によって、月額単価の向上を図る。

## 整備領域

(メディア)

## 2024年10月のOBD検査導入を見据え、取引ネットワークを拡大

第3四半期は、「グー故障診断」、「グーメンテナンスパック」の中古車領域への展開に伴い、グーメンテナンスパックの受付工場数拡大等に注力。また、これらの導入済商品の稼働率を高めるフェーズとし、月額単価の向上を図った。取引工場数は、第4四半期にて拡大を計画。

## 新車領域

(サービス)

## メーカーとの協力体制強化が取引先拠点数拡大に寄与

国産車メーカーに加え、輸入車インポーターとの協力体制強化にも取り組むことにより、「DataLine SalesGuide」の他、「DataLine AI査定」、「DataLine SalesGuide乗換提案書」といったオプション商品の導入が伸長。売上高、営業利益ともに成長し、計画より上振れ。第4四半期以降も引き続き取引拠点数の拡大及びオプション商品の拡販を図る。

## 整備钣金ソフト

(サービス)

## バージョンアップを行った既存システムにより、新規取引先数拡大を目指す

第3四半期は、新規獲得数が計画未達となり、売上が計画未達成となった。営業利益は、販管費が計画を下回り計画達成。第4四半期以降は、10月にバージョンアップを行った既存システムにより、さらなる取引拡大を図る。

#### タイヤ・ ホイール事業

(物品販売)

#### 物流拠点の増設により、販売が好調、引き続き本数拡大を図る

物流拠点増設による在庫拡大により、スタッドレスタイヤ・ホイールセットを中心に販売が好調に推移。第3四半期においても、適宜、原価上昇を販売価格に転嫁する対策を実施。第4四半期以降は、市場との価格バランスを保ちながらサマータイヤへの履き替え需要を確実に取り込み、販売本数の拡大を図る。

#### 中古車輸出

(物品販売)

#### マレーシア、香港向けの販売が順調であったが、海運は引き続き留意

主要輸出先であるマレーシア、香港向けの輸出台数が増加し、売上高は計画を達成。影響を受けていた船積みスペースの確保については、第2四半期の滞留分は解消。新車輸出の他、国際情勢の影響により不安定さは残るものの、需要に懸念はないため、引き続き販売台数の拡大を図る。

#### チケット販売

(チケット販売)

#### 人流の活発化により売上が拡大したが、引き続き収益性改善が課題

人流の活発化により、商品券、旅行・レジャーチケット等の需要が高まり、売上高は順調に推移。前期から取り組んでいるEC強化は、収益性の高い商材の販売数拡大のみでなく買取数拡大にも寄与。一方、営業利益については、増益ではあるものの、事業拡大に伴う採用費、人件費等の先行費用増加により一時的に収益性が悪化した。第4四半期以降は、事業拡大を売上高、営業利益の成長に繋げ、引き続き収益性改善に努める。

# 第3四半期累計期間（4月-12月）セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

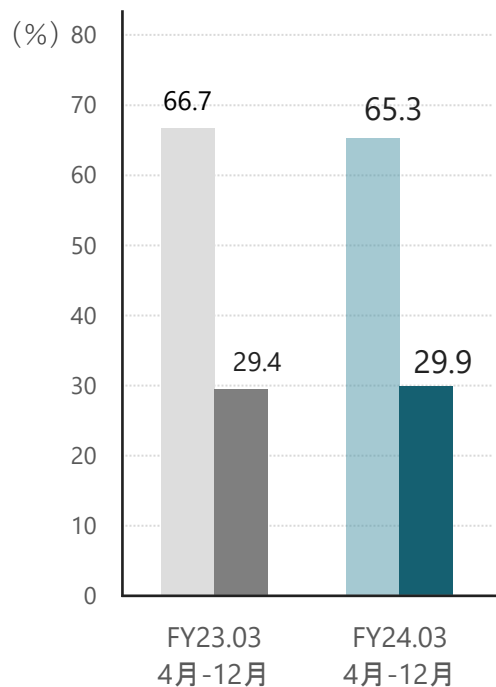
		当期計画 2024年3月期 4月-12月	当期実績 2024年3月期 4月-12月	計画対比	前期実績 2023年3月期 4月-12月	前期対比
プラットフォーム	売上高	23,649	23,717	+0.3%	22,465	+5.6%
	営業利益	6,855	7,086	+3.4%	6,609	+7.2%
メディア	売上高	19,186	19,115	▲0.4%	18,106	+5.6%
	営業利益	5,640	5,790	+2.7%	5,499	+5.3%
サービス	売上高	4,462	4,602	+3.1%	4,359	+5.6%
	営業利益	1,215	1,295	+6.6%	1,109	+16.7%
コマース	売上高	55,639	57,052	+2.5%	51,993	+9.7%
	営業利益	704	653	▲7.1%	489	+33.5%
物品販売	売上高	23,996	24,224	+0.9%	22,540	+7.5%
	営業利益	446	414	▲7.2%	294	+40.6%
チケット販売	売上高	31,643	32,828	+3.7%	29,452	+11.5%
	営業利益	257	239	▲7.0%	195	+22.7%
その他	売上高	5,868	6,087	+3.7%	4,871	+25.0%
	営業利益	132	173	+30.4%	398	▲56.6%



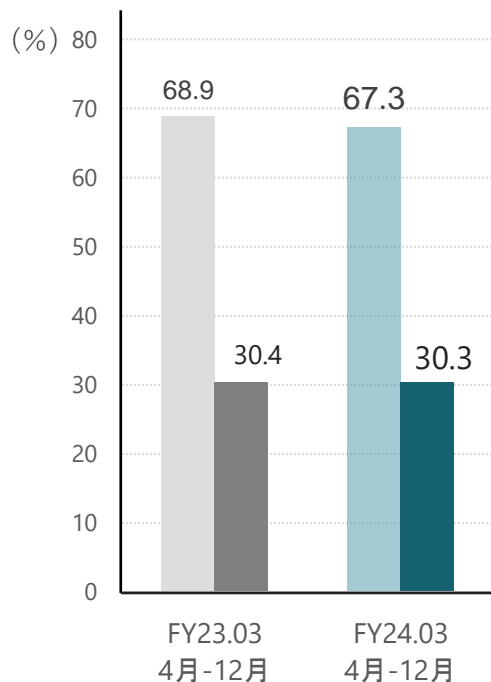
新車領域のオプション商品拡販により、売上高営業利益率が改善

■ 売上高総利益率 ■ 売上高営業利益率

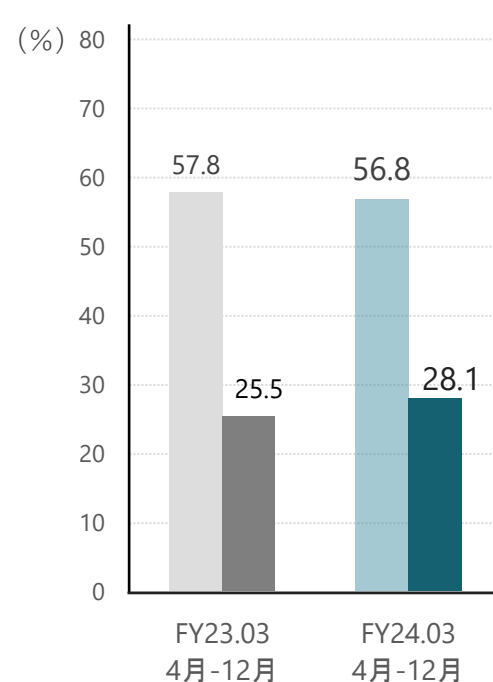
## プラットフォーム全体



## メディア



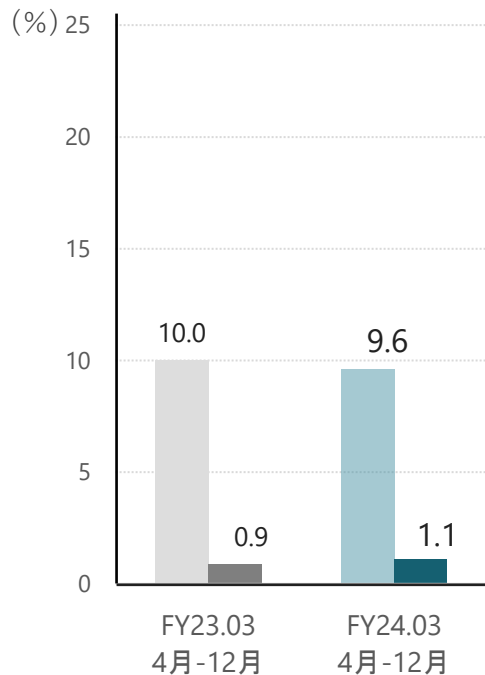
## サービス



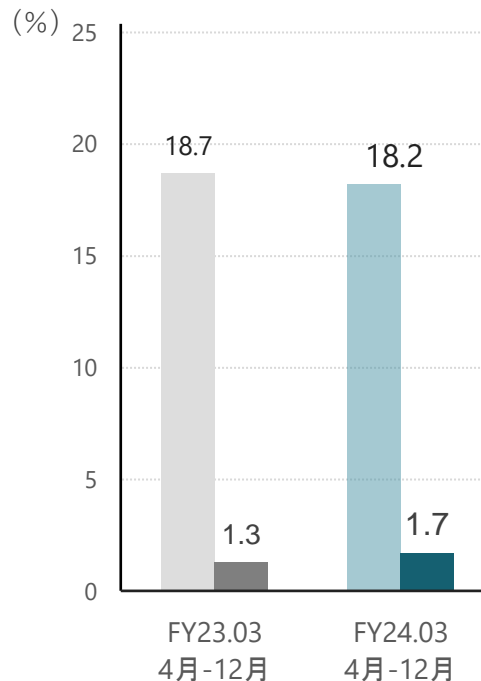
営業利益は若干の改善傾向を示すが、引き続き収益性の改善を推進していく

■ 売上高総利益率 ■ 売上高営業利益率

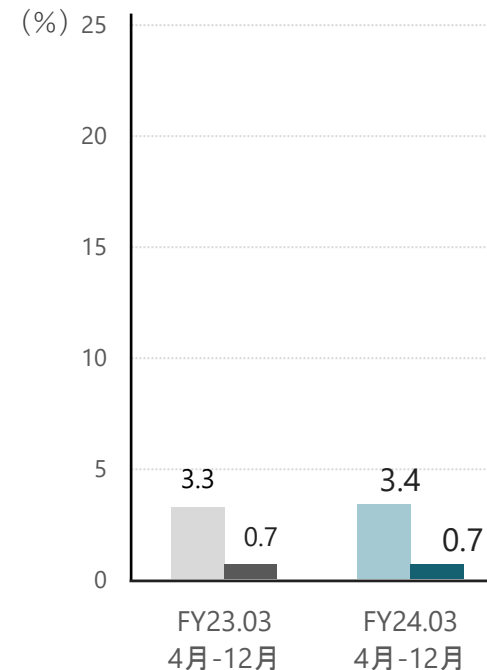
### コマース全体



### 物品販売



### チケット販売

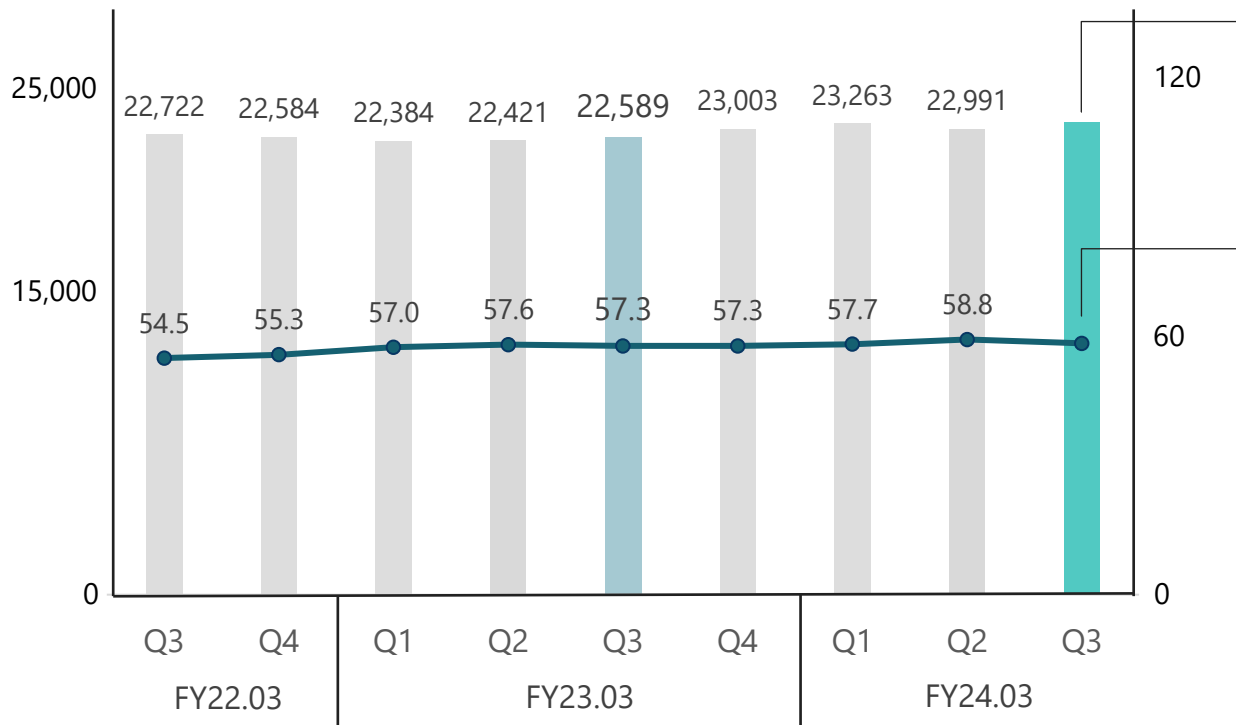


第3四半期は新規営業に注力し、取引店舗数を大きく拡大



取引店舗数  
(単位：店舗)

月額単価  
(単位：千円)



取引店舗数\*1

**23,340**店舗

(業界シェア59.7%)

前期対比  
+3.3%

月額単価

**57.9**千円

前期対比  
+1.0%

解約率\*2

**2.1%**

(12ヶ月平均)

MRR\*3

**13.5**億円

(2023年12月)

\*1:対象マーケット(当社調べ) 39,081店舗

\*2:解約率は2022年4月~2023年3月までの値です。

\*3:Monthly Recurring Revenueの略称です。  
対象月の月末時点における継続課金取引先に係る月額料金の合計額です。

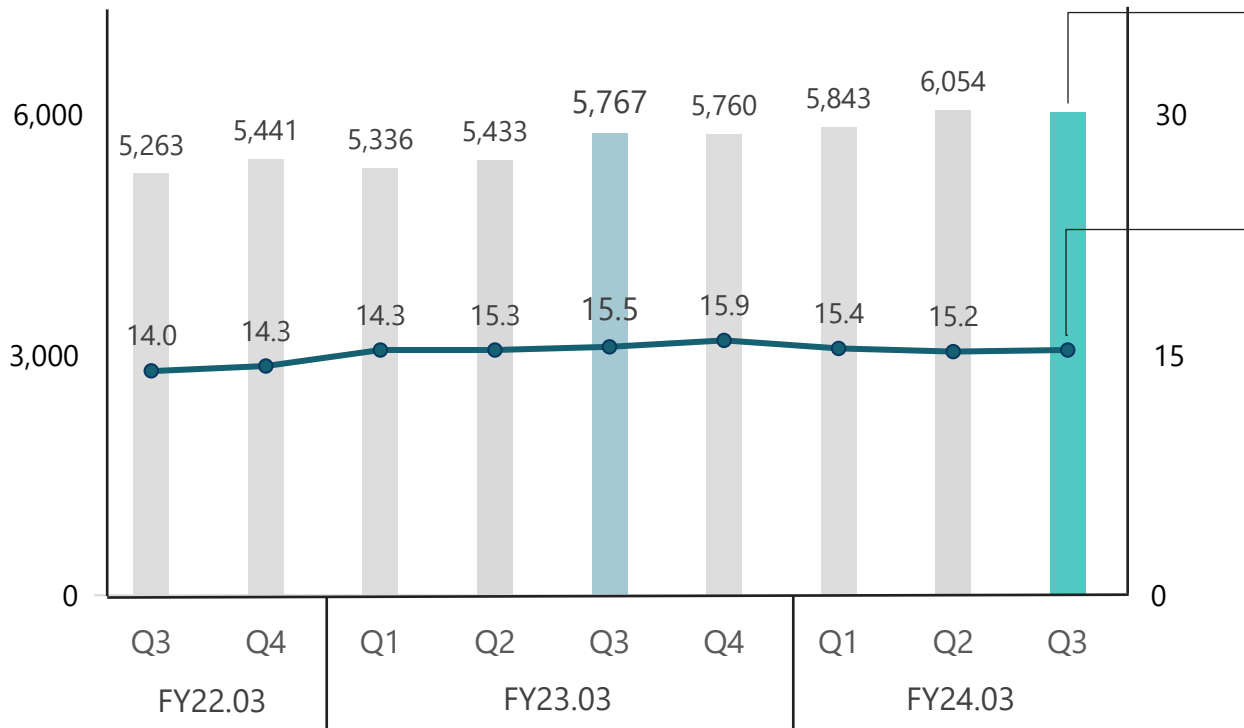
# 整備領域の取引工場数と月額単価推移

第3四半期は既存取引工場へのオプション商品拡販に注力



取引工場数  
(単位：工場)

月額単価  
(単位：千円)



取引工場数\*1

**6,029**工場

(業界シェア6.6%)

前期対比  
+4.5%

月額単価\*2

**15.3**千円

前期対比  
△0.9%

解約率\*3

**1.3%**

(12ヶ月平均)

MRR\*4

**0.9**億円

(2023年12月)

\*1:対象マーケット 91,946工場  
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会  
認証事業場および指定事業場の推移(2023年3月末集計)

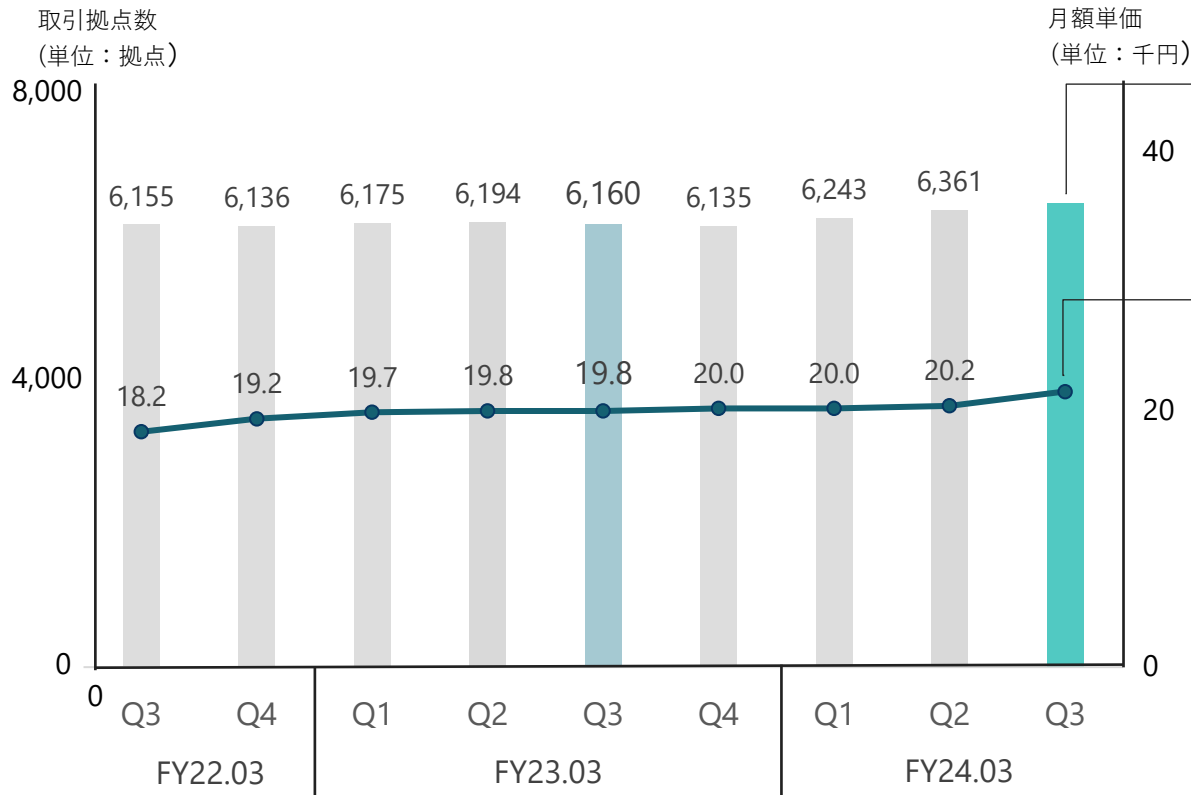
\*2:MOTOR GATE PIT INの月額利用料を含みます。

\*3:解約率は2022年4月～2023年3月までの値です。

\*4:Monthly Recurring Revenueの略称です。  
対象月の月末時点における継続課金取引先に係わる  
月額料金の合計額です。

# 新車領域の取引拠点数と月額単価推移

オプションサービスの導入が進み(導入実績推移は15ページ)月額単価が上昇



取引拠点数\*1

**6,447** 拠点

(業界シェア45.1%)

前期対比  
+4.7%

月額単価

**21.3** 千円

前期対比  
+7.2%

解約率\*2

**0.4%**

(12ヶ月平均)

MRR \*3

**1.4** 億円

(2023年12月)

\*1:対象マーケット(当社調べ) 14,300拠点

\*2:解約率は2022年4月~2023年3月までの値です。

\*3:Monthly Recurring Revenueの略称です。  
対象月の月末時点における継続課金取引先に係る月額料金の合計額です。

# 当社の表明 「健全な中古車業界を目指して」の進捗

当社は、消費者に必要な情報の開示を進めます

1. 2023年10月1日から中古車の販売価格が「**支払総額**」表示になりました

価格への不安を取り除く

2. 「**グー鑑定**」により修復箇所や傷・凹みの車両状態情報がわかる第三者機関の鑑定証付き

車両状態への不安を取り除く

3. 目視点検で見えない部分もクルマの健康診断で「**見える化**」を促進します

## 1. 「支払総額」表示



## 2. 「グー鑑定」

第三者機関の日本自動車鑑定協会（JAAA）の鑑定師が中古車を鑑定。プロが一台一台チェック。



## 3. 「見える化」 → **グー故障診断**

車載式故障診断装置(OBD)を活用し、クルマの状態が一目でわかる診断書をアプリを通して自動で発行



## 当社の表明 「健全な中古車業界を目指して」の進捗

中古車業界の健全化の考えに賛同いただく中古車販売店が増加し、消費者に必要な情報の開示が進んでいます

### 1. 「支払総額」表示の影響

グーネットにおいて、消費者からの価格に関する問い合わせが減少し、成約率の高いカレンダー予約数が増加。  
予約数の増加に伴い、「MGカレンダー」の導入店舗数も順調に増加。

### 2. 「グー鑑定」の進捗

グーネットにおけるグー鑑定の掲載割合は、9月末時点とほぼ横ばい。  
グー鑑定新規加盟店数は、10月以降も継続的に増加している。

### 3. グー故障診断の進捗

2024年3月に**グーネット上に車両ごとの「グー故障診断」データを掲載開始する予定**。グー故障診断の営業進捗は順調であり、規模の大小にかかわらず導入が進んでいる。また、グー鑑定加盟店におけるグー故障診断の導入割合が高いため、今後、グー鑑定の加盟とグー故障診断の導入の相乗効果が見込まれる。

挑戦を未来の力に

**PROTO**  
プロト コーポレーション

# Appendix

## —KPI・業績—

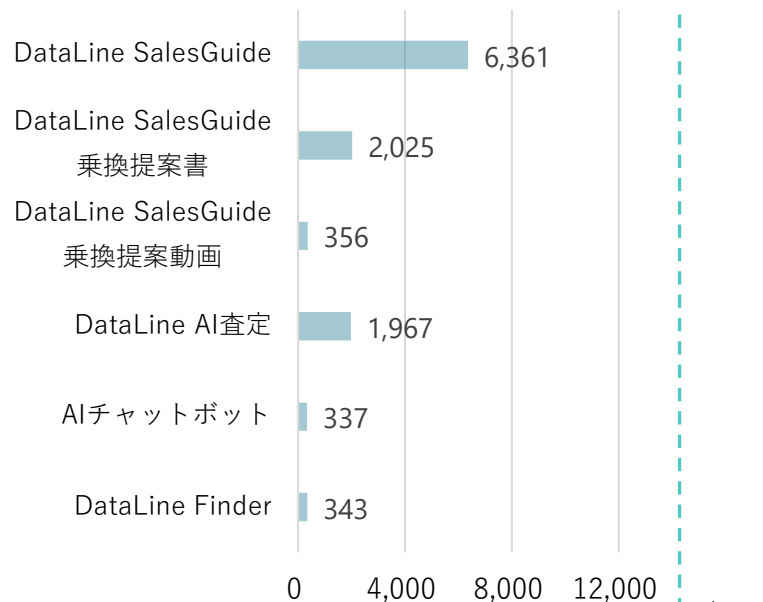


国産車メーカー、インポーターとの協力体制を深め、オプションサービスの獲得が伸長

## 2023年9月 実績 (導入拠点数)

増減

## 2023年12月 実績 (導入拠点数)



+86

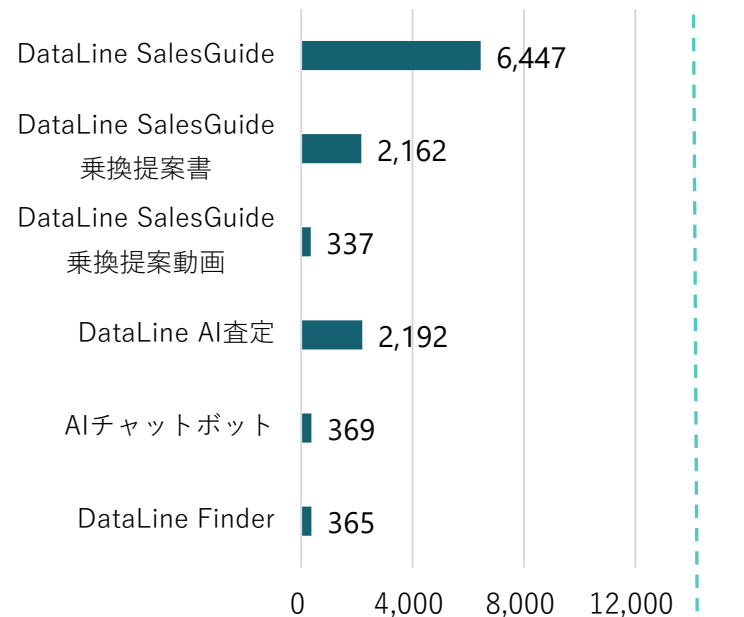
+137

▲19

+225

+32

+22



対象マーケット数：  
14,300拠点

対象マーケット数：  
14,300拠点

# 2024年3月期第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2023年3月期 期末		2024年3月期 第3四半期		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
	流動資産	39,537	65.3%	42,616	65.9%	3,078
固定資産	21,016	34.7%	22,020	34.1%	1,004	104.8%
流動負債	15,538	25.7%	16,486	25.5%	947	106.1%
固定負債	1,499	2.5%	1,459	2.3%	▲39	97.4%
純資産	43,515	71.9%	46,690	72.2%	3,175	107.3%
総資産	60,553	100.0%	64,636	100.0%	4,082	106.7%

(単位：百万円)	2023年3月期 期末		2024年3月期 第3四半期		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
	現金及び預金	23,739	39.2%	23,653	36.6%	▲86
有利子負債	4,446	7.3%	5,337	8.3%	890	120.0%
ネットキャッシュ	19,292	31.9%	18,315	28.3%	▲977	94.9%

# 2024年3月期第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,073	1,800	727
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,566	▲1,360	2,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	378	▲546	▲925
現金及び現金同等物の期末残高	23,832	23,394	▲438

(単位：百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	3,784	1,499	▲2,285
減価償却費	723	823	100
のれん償却額	382	164	▲218

# 連結業績（10年推移）

(単位：百万円)	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期 *1	2023.3期 *1
売上高	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251	59,127	60,097	57,446	105,596
営業利益	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565	5,136	5,941	6,422	7,336
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,627	2,381	▲ 390	1,506	519	3,159	4,991	4,853	5,880	4,424
EBITDA * 2	6,483	6,039	6,149	4,547	5,396	5,920	6,455	7,262	7,660	8,845
調整後当期純利益 * 3	3,555	3,308	641	2,145	1,151	3,596	5,420	5,275	6,240	4,946
減価償却費	819	879	1,046	1,113	1,089	916	890	898	877	988
のれん償却額	928	926	1,032	638	632	437	429	422	360	521
販売費及び 一般管理費	16,510	16,044	17,157	19,024	19,467	19,267	19,270	19,250	18,205	20,606
人件費	7,086	7,358	7,706	7,936	8,066	7,871	7,721	7,525	6,849	7,456
広告宣伝費	2,602	2,386	2,423	4,167	4,295	4,486	4,602	5,071	5,153	5,628
その他	6,821	6,299	7,027	6,921	7,106	6,909	6,945	6,653	6,201	7,522

\*1 新収益認識基準となります。

\*2 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

\*3 調整後当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

# 連結業績（四半期推移）

(単位：百万円)	2021. 3期		2022. 3期*1				2023. 3期*1				2024 3期*1		Q3
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
売上高	17,315	15,325	13,661	12,646	16,384	14,753	23,784	26,027	29,518	26,310	27,220	27,337	32,299
売上総利益	6,859	6,391	6,233	5,752	6,603	6,037	6,709	6,554	7,688	6,991	7,317	6,850	7,772
EBITDA*2	2,418	1,347	2,096	1,606	2,366	1,591	2,415	1,907	2,760	1,763	2,541	1,872	2,902
営業利益	2,088	1,014	1,780	1,304	2,057	1,280	2,082	1,525	2,368	1,360	2,231	1,542	2,554
経常利益	2,045	1,245	1,865	1,365	2,064	1,327	2,100	1,568	1,709	1,584	2,755	1,562	2,501
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,437	1,624	2,281	1,341	1,426	830	1,398	1,002	1,089	933	1,808	1,027	1,716

販売費及管理費	4,771	5,376	4,452	4,448	4,545	4,757	4,627	5,028	5,319	5,631	5,085	5,308	5,218
人件費	1,867	1,883	1,797	1,647	1,682	1,722	1,808	1,828	1,913	1,906	1,942	1,936	1,977
広告宣伝費	1,184	1,782	989	1,421	1,206	1,535	1,132	1,409	1,396	1,690	1,315	1,493	1,203
その他	1,719	1,710	1,665	1,379	1,656	1,500	1,687	1,790	2,010	2,033	1,827	1,878	2,037

\*1:新収益認識基準となります。

\*2 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

# 連結業績 セグメント別PL（四半期推移）

(単位：百万円)		2022.3期		2023.3期				2024.3期		Q3
		Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
プラットフォーム	売上高	7,203	7,375	7,364	7,478	7,622	7,839	7,767	7,904	8,044
	営業利益	2,095	1,711	2,328	2,038	2,243	1,956	2,430	2,125	2,529
メディア	売上高	5,783	5,875	5,925	6,043	6,137	6,325	6,309	6,352	6,452
	営業利益	1,716	1,313	1,937	1,694	1,867	1,600	2,041	1,639	2,110
サービス	売上高	1,420	1,500	1,439	1,434	1,485	1,514	1,457	1,552	1,592
	営業利益	379	398	390	343	375	355	389	486	419
コマース	売上高	8,152	6,198	15,233	16,888	19,870	16,555	17,316	17,658	22,077
	営業利益	307	▲56	107	▲52	434	▲72	163	▲0	490
物品販売	売上高	8,152	6,198	6,544	6,324	9,671	7,033	7,166	6,665	10,392
	営業利益	307	▲56	79	▲137	352	▲101	62	▲68	419
チケット販売	売上高	-	-	8,688	10,564	10,198	9,522	10,150	10,992	11,685
	営業利益	-	-	28	85	81	28	100	67	70
その他	売上高	1,028	1,178	1,186	1,659	2,025	1,871	2,136	1,774	2,176
	営業利益	133	49	123	38	237	▲19	137	▲47	82
管理部門	営業利益	▲478	▲425	▲477	▲498	▲546	▲503	▲499	▲535	▲549
合計	売上高	16,384	14,753	23,784	26,027	29,518	26,266	27,220	27,337	32,299
	営業利益	2,057	1,280	2,082	1,525	2,368	1,360	2,231	1,542	2,554

挑戦を未来の力に

**PROTO**  
プロト コーポレーション

# Appendix

## ービジネス概要ー

## 企業目標

# 挑戦し続けることで変化（チェンジング）を生み出す チェンジング・カンパニー



代表取締役社長

神谷 健司

これからの10年で、私たちを取り巻くモビリティ環境は一変します。ガソリン車は、多様なカーボンニュートラル車へ。個人所有は、共有や共用へ。時代が大きく変わるとき、企業の真価が問われます。

当社は、中古車・新車・整備、二輪、各事業領域における車両データやユーザーデータの蓄積・活用を進め、マスター、データ、AIを軸とした新たなサービスを創出し、激変する環境にいち早く対応します。

これからも、「夢と感動 楽しい！」の追求を通じて、新しい時代の「モビリティスタイル・パートナー」へ。そして、世の中に新たな価値を生み出し、真に社会から選ばれる「未来社会のパートナー企業」へ。当社は、企業目標として「チェンジング・カンパニー」を掲げ、全社一丸となって企業目標を実現してまいります。

## 当社の特徴

モビリティ領域のNo.1プラットフォームへ

マスター×AI×データで価値創造

クルマ情報メディア「グーネット」を運営し、中古車販売店 取引店舗数シェアは約60%と中古車情報メディアのリーディングカンパニー。

モビリティ領域のDXをトータルサポートし、中古車・新車・整備領域を横断したDXの推進。

マスター×AI×データでプラットフォームを構築し、モビリティ領域のインフラを目指す。

## 2023年3月期業績

売上高	1,055億円
営業利益	73億円
ROE	10.6%

## 2024年3月期指標

時価総額	552億円*
PER	9.01倍*
PBR	1.17倍*

\* 2024年1月29日時点



# 売上高・営業利益の推移

売上高  
(億円)  
1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

1980.3

1990.3

2000.3

2010.3

2020.3

2023.3 2025.3

ゲーのエリア展開

ゲーのシリーズ展開  
サービスのITシフト

M&Aの積極展開

事業ポートフォリオの  
選択・集中

データプラットフォーム  
構築の推進

■ 売上高 ■ 営業利益

2015.10  
DataLine SalesGuideの提供開始

2015.4  
タイヤワールド館ベスト  
株式取得

2013.4  
オートウェイ株式取得

2012.4  
ゲーネットエクスチェンジ  
株式取得

2013.12  
ゲービット開設

2007.6  
ゲー鑑定を首都圏で提供開始

2001.8  
ゲーバイク創刊  
2002.3  
ゲーパーツ創刊

1996.10  
ゲーネット開始

1995.10  
ゲー首都圏版創刊

1992.12  
ゲー関西版創刊

2022.4  
コスミックグループ  
株式取得

130 営業利益  
(億円)

110

90

70

50

30

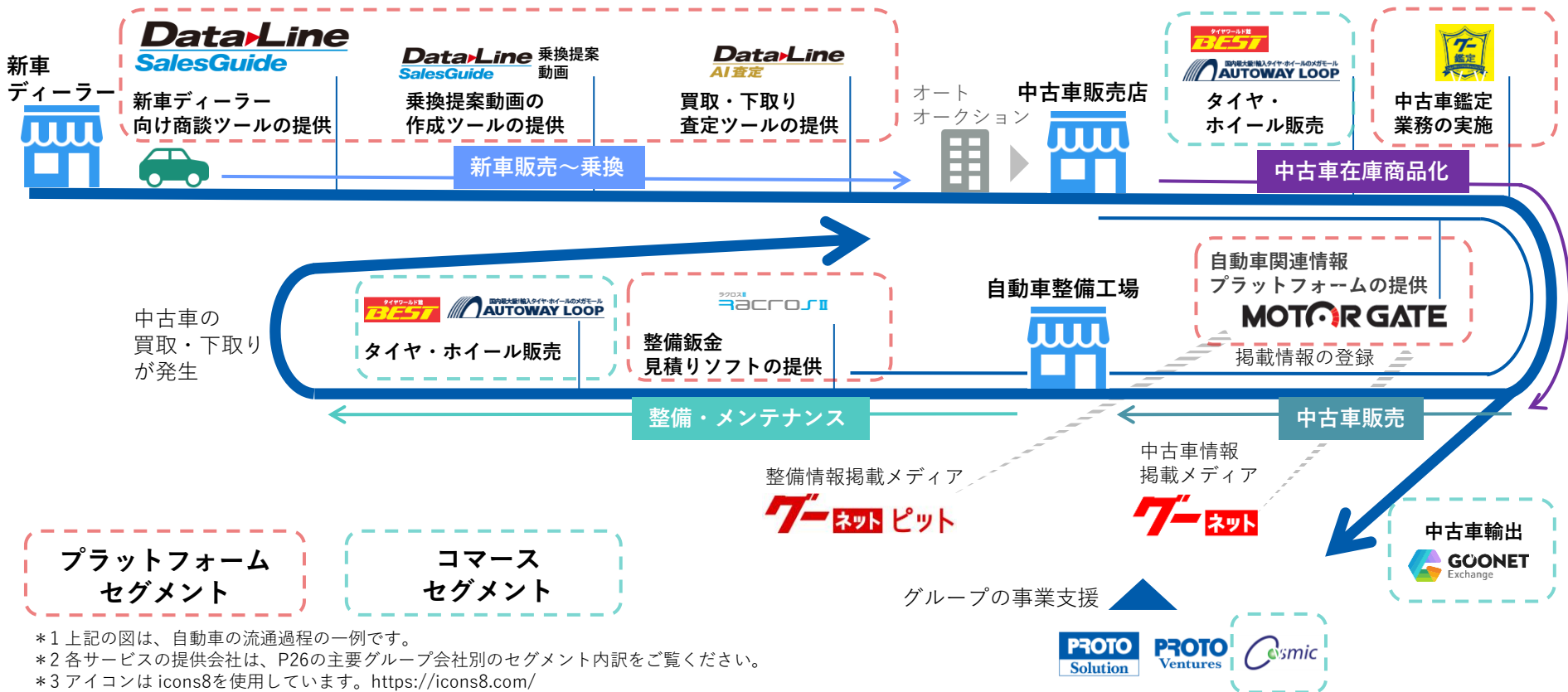
10

-10

\* 2022年3月期以降は新収益認識基準となります。(計画)  
\* 2023年3月期以降は2022年5月13日公表の数値となります。

# プロトグループによる経営支援

プロトグループは、自動車販売・整備業の経営をトータルサポート



\*1 上記の図は、自動車の流通過程の一例です。

\*2 各サービスの提供会社は、P26の主要グループ会社別のセグメント内訳をご覧ください。

\*3 アイコンは icons8を使用しています。 <https://icons8.com/>

# 当社プラットフォームのビジネスモデル

## プラットフォーム（メディア）

\*ユーザー向けのメディアを運営し、当該メディアの掲載管理システムの利用料を受け取るビジネスモデル

### ユーザー

- ・コンテンツ閲覧
- ・中古車販売店/整備工場への問い合わせ
- ・来店予約、オンライン商談予約

課金体系：無料

## プラットフォーム

### MOTOR GATE

- ・自動車関連情報プラットフォーム  
(中古車販売店マネジメントシステム)

## メディア

**ジーネット**

**ジーネットピット**

- ・中古車検索
- ・整備工場検索

## クライアント

### (中古車販売店/整備工場)

- ・中古車・整備情報登録（在庫登録）
- ・ユーザーの問い合わせ対応

課金体系：

**MOTOR GATE**利用料

(月額固定/在庫台数連動型)

+MOTOR GATE 各種オプション料

## プラットフォーム（サービス）

\*新車ディーラー向けの商談・査定等支援ツールを提供し、当該サービスの利用料を受け取るビジネスモデル

### ユーザー

- ・新車ディーラー担当者より情報の受領

## プラットフォーム

### DataLine SalesGuide

- ・新車商談時のコスト比較機能
- ・乗り換えシミュレーション機能
- ・将来価格予測機能
- ・乗換提案書機能

### DataLine AI査定

- ・査定機能

## クライアント

### (新車ディーラー)

- ・顧客情報登録
- ・ユーザー車両情報登録

課金体系：

**月額利用料**（月額固定）

+各種オプション料

# 主要グループ会社別のセグメント内訳

セグメント	サブセグメント	詳細
プラットフォーム	メディア	<b>メディア：中古車・整備・二輪</b> プロトコーポレーション、プロトソリューション <b>鑑定事業</b> カークレド
		<b>アライアンス</b> グーネットエクスチェンジ
	サービス	<b>新車</b> プロトコーポレーション <b>整備钣金ソフトウェア販売</b> プロトリオス
コマース	物品販売	<b>タイヤ・ホイール販売</b> オートウェイ、タイヤワールド館ベスト <b>中古車輸出</b> グーネットエクスチェンジ
		<b>物品販売</b> プロトコーポレーション、プロトソリューション
	チケット販売	<b>チケット販売事業</b> コスミック流通産業
その他	—	<b>農業・不動産・その他</b> プロトコーポレーション <b>BPO</b> プロトソリューション <b>投資事業</b> プロトベンチャーズ・プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合 <b>太陽光発電</b> オートウェイ <b>バスケットボールチームの運営</b> 沖縄バスケットボール

# 会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション																				
創業	1977年10月1日																				
設立	1979年6月1日																				
資本金	1,849百万円（2023年3月31日現在）																				
発行済株式総数	41,925,300株（2023年3月31日現在）																				
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号																				
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本（全国35拠点）																				
事業年度末	3月31日																				
社員数	連結：1,468名（2023年3月31日現在） 単体：534名（2023年3月31日現在）																				
上場取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミア市場																				
連結子会社	<table><tr><td>1. 株式会社オートウェイ</td><td>11. 株式会社プロトベンチャーズ</td></tr><tr><td>2. 株式会社タイヤワールド館ベスト</td><td>12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合</td></tr><tr><td>3. 株式会社グーネットエクスチェンジ</td><td>13. コスミック流通産業株式会社</td></tr><tr><td>4. 株式会社プロトリオス</td><td>14. コスミックGCシステム株式会社</td></tr><tr><td>5. 株式会社カークレド</td><td>15. 沖縄バスケットボール株式会社</td></tr><tr><td>6. 株式会社カーブリックス</td><td>16. 沖縄アリーナ株式会社</td></tr><tr><td>7. 株式会社プロトソリューション</td><td>17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社</td></tr><tr><td>8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス</td><td>18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.</td></tr><tr><td>9. 株式会社アソシエ</td><td>19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）</td></tr><tr><td>10. 株式会社オニオン</td><td></td></tr></table>	1. 株式会社オートウェイ	11. 株式会社プロトベンチャーズ	2. 株式会社タイヤワールド館ベスト	12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合	3. 株式会社グーネットエクスチェンジ	13. コスミック流通産業株式会社	4. 株式会社プロトリオス	14. コスミックGCシステム株式会社	5. 株式会社カークレド	15. 沖縄バスケットボール株式会社	6. 株式会社カーブリックス	16. 沖縄アリーナ株式会社	7. 株式会社プロトソリューション	17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社	8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス	18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.	9. 株式会社アソシエ	19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）	10. 株式会社オニオン	
1. 株式会社オートウェイ	11. 株式会社プロトベンチャーズ																				
2. 株式会社タイヤワールド館ベスト	12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合																				
3. 株式会社グーネットエクスチェンジ	13. コスミック流通産業株式会社																				
4. 株式会社プロトリオス	14. コスミックGCシステム株式会社																				
5. 株式会社カークレド	15. 沖縄バスケットボール株式会社																				
6. 株式会社カーブリックス	16. 沖縄アリーナ株式会社																				
7. 株式会社プロトソリューション	17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社																				
8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス	18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.																				
9. 株式会社アソシエ	19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）																				
10. 株式会社オニオン																					

（2023年3月31日現在）

## 将来予測について

---

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があり得ることを、ご承知おきください。

### 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

---

株式会社プロトコーポレーション 経理・財務部門 河合・中江

Tel : 052-934-1514

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp